

		基礎コース			専門コース
		レベルⅠ(目安:1年目) 指導を受けながら看護が実践できる	レベルⅡ(目安:2・3年目) 自立して看護が実践できる	レベルⅢ(目安:4~6年目) 看護単位の看護実践役割モデルができる	レベルⅣ(目安:7年目以上) 役割モデルとして創造的な看護実践ができる
到達目標		1 済生会の歴史と使命について理解できる	1 済生会の使命と施設との関連を理解できる	1 社会福祉法人としての済生会の目的・事業を知る	1 生活困窮者への援助事業(無料低額診療・なでしこプラン)に参画する
		2 病院の理念・目標を理解し、組織の一員として自覚する	2 所属部署目標やチーム目標をふまえて、自己の目標に取り組むことができる	2 所属部署目標をふまえて、自己に課せられた役割を達成できる	2 所属部署目標の達成に向け、スタッフに指導的な関わりができる
		3 正確な知識・技術を習得し、指導を受けながら安全な看護サービスを提供できる	3 正確な知識・技術で、安全な看護サービスを提供できる	3 効果的かつ効率的な看護サービスを考え、実践できる	3 適切な看護サービスを提供するために、指導的役割をとることができる
		4 看護チームにおけるメンバーの役割を理解し、行動できる	4 日々のリーダーの役割を理解し、協力を得て遂行することができる	4 チームリーダーの役割を果たし、チーム内で発生した問題を解決できる	4 多職種と連携・協働して、効果的で効率的な看護を提供できる
		5 自己の課題に対し、助言を受けて学習できる	5 自己の学習課題に対し、自主的に学習することができる	5 自己の課題を解決し、自己のキャリアを展望することができる	5 専門分野に関してスタッフ指導ができる
		6 看護職者の倫理綱領(日本看護協会)が理解できる	6 看護職者の倫理綱領(日本看護協会)に基づいた看護実践が提供できる	6 看護職者の倫理綱領(日本看護協会)に基づいた役割モデルが取れる	6 看護職者の倫理綱領(日本看護協会)に基づいた看護実践ができるようにスタッフを支援できる
カテゴリー		評価内容			
看護実践能力	収集情報	1 受け持ち患者について、施設で定められた形式・方法・手順で情報収集する	1 病状変化に即応して、予見性を持って情報収集する	1 受け持ち患者の状態を把握しながら、周囲の状況についても情報を得る	1 多角的に情報収集する
	問題の明確化	1 受け持ち患者の看護問題があげられる 2 受け持ち患者の問題の優先順位がわかる	1 患者の個性を踏まえた問題があげられる 2 得られた情報やアセスメントの結果から、看護問題を明らかにし、その関連性について他者に説明する	1 患者を取り巻く環境から予測される問題点を明確にする	1 あらゆる側面から効率的に問題を明確化する
	計画立案	1 看護問題の目標を設定する 2 看護問題について標準的な看護計画を立案する	1 患者の長期(退院までを見据えた)目標を設定する 2 患者の状態・問題点に即した、適切な看護計画を立案する 3 患者・家族の意向を確認し計画を立案する 4 状態の変化(身体情報・データ)に応じた計画の修正をする	1 患者の状況変化に対応した計画修正する	1 スタッフが立案した計画に対し指導をする
	実践	1 受け持ち患者について看護計画に沿った必要日常生活の支援をする 2 基本的な看護技術を実践する 3 受け持ち患者の症状と反応を観察し、異常に対応(報告・相談)する 4 プライバシーに配慮した行動をする 5 未習熟な技術を実施する場合に、確認や応援を求められる 6 退院時の手続きや対応がわかる(会計・薬剤等の確認) 7 救急カートやAEDの保管場所がわかり、指示を受けながら行動する	1 患者の看護計画に基づき、看護ケアを実践する 2 基本的看護技術を個性にあわせて応用し提供する 3 時間配分や優先順位を考慮し必要なケアを行う 4 緊急時・突発的な出来事が生じた時に指示を受け対応する	1 患者・家族の反応を観察し、適切な看護ケアをする 2 患者の退院支援を他部署と協力する 3 役割モデルとなる看護実践をする	1 多様なアプローチを用いて看護実践を行う 2 看護実践において他のスタッフの人的資源になる 3 患者・家族が遭遇する生命倫理と現実とのジレンマを察知し、解決に向けて、医療チームの調整をする 4 退院支援に関し、医療福祉制度を活用する
	評価	1 看護計画に対し、指導を受けながら計画の評価・修正をする 2 自分が実施したケア・技術の評価(良い点、不十分な点がある)をする	1 実践したケアについての振り返りをする 2 実践したケアについて、患者の反応を評価する	1 他者の意見も反映させた(計画の妥当性)計画修正をする	1 行われた看護の妥当性・効果について評価し、スタッフへフィードバックする
	記録	1 看護記録記載基準に沿って、実践したケアの記録を書く 2 指導を受けながら、退院(転科・転院)サマリーを書く	1 実施した看護について記録する 2 実施した看護の評価(患者の反応を含め)について記録する 3 所属部署の一般的な疾患患者の退院サマリーを記録する	1 看護実践について倫理的視点、法律的視点から適切に記録する 2 複雑な状況にある患者の退院サマリーを書く	1 適切な表現の記録となるようスタッフを指導する 2 記録の内容を監査し指導する
マネジメント能力	安全管理	1 院内感染予防対策の基本がわかり、スタンダードプリクションを実施する 2 医療安全マニュアルに沿って、ルールに従い行動する 3 インシデント発生時の報告をする 4 防災訓練に参加する(防災設備を知り、取扱いができる)	1 感染防止対策を実施し、患者や家族に説明する 2 医療安全マニュアルの根拠を理解して行動する 3 自己のインシデントレポートから、自己の傾向を分析する 4 緊急・災害発生時は指示を受けて対応する	1 感染防止対策を実施し、他者に説明、指導する 2 医療安全マニュアルに沿った行動をし、他者に説明、指導する 3 緊急・災害発生時にチームリーダーとして対応する 4 組織の安全(医療安全・感染)文化の醸成に向けて協力する 5 インシデント・アクシデント発生時、適切に対応し報告をする	1 組織の安全文化の醸成を推進する 2 患者の安全が守られるようにスタッフの行動に気を配り指導する 3 夜間・休日の緊急・災害発生時にリーダーとしてスタッフに指示する 4 所属部署のインシデントレポートから業務改善に取り組む
	チーム活動	1 看護部の方針・目標が言える 2 所属部署の特殊性と業務内容が言える 3 チームメンバーの役割を理解し行動する 4 カンファレンスで自分の意見を述べる	1 チーム活動を理解してメンバーシップを発揮する 2 日々のリーダー業務を理解し、自立して行う 3 所属部署の各係の役割を理解し、責任を果たす 4 会議及びカンファレンスで自分の意見を述べる	1 業務内容を評価し、管理上の問題について情報交換や意見をのべる 2 職場全体の環境整備や周囲のメンバーの動きに気を配る 3 夜間・休日の管理業務を責任を持って遂行する 4 患者・職員の安全に配慮し業務を調整する	1 所属部署の目標の立案・実践・評価において積極的に関わる 2 主任・看護部長を補佐し、不在時は代行する 3 チーム医療の推進に向け調整的役割を発揮する
	物品管理	1 使用後の物品の後始末ができ、定位置に整理整頓して保管する 2 所属部署の物品管理について理解し行動する	1 看護業務に必要な物品を把握し、使いやすように整える 2 5S活動を実践する 3 コストを意識し無駄のないように行動する	1 日常業務が円滑に進むように物品を管理する	1 医療器材の点検・整備の必要性について指導・管理をする 2 5S活動を指導する
	時間管理	1 時間を守る(勤務:出勤時間・退勤時間・研修・会議、患者との約束) 2 日常業務を時間内に終了できるように一日の行動計画を立てる	1 業務を効率的におこない一定の時間内に終了する 2 患者の状態に合わせて、適切かつタイムリーに業務を行う	1 効率よく行動し、メンバーの支援をする 2 チーム全体を見て優先順位を考え行動する	1 スタッフが時間内に業務を終えられるように支援する 2 不測の事態発生時、業務調整とスタッフ調整をする
	情報管理	1 守秘義務を遵守する 2 共有すべき情報が何かを理解(報告・情報提供)する	1 病院情報や患者情報を他者と共有する場合は、院内の規定に則って行動する 2 必要な情報をタイムリーに報告・連絡・相談する	1 他職種、他部門から積極的に情報を得る 2 得られた情報の意味を理解し必要に応じて情報を伝達する	1 病院の経営管理に関する情報に関心を持ち、情報収集する 2 情報管理について指導する
	教育・研究能力	自己啓発	1 所属部署で代表的な疾患や検査について学習する 2 看護部研修(VOD受講)や病棟勉強会で学習する 3 疑問点があった時に、先輩に聞いたり自分で調べる 4 看護系雑誌を読む 5 院内外の新人看護師研修受講と振り返りから、自己の課題を見出す	1 所属部署の一般的な疾患について後輩に説明する 2 院内外の教育プログラム(VOD受講)に目標を持って参加する 3 専門誌等から新しい情報を得る 4 院内外の研修に参加した内容をメンバーに伝達する	1 自己の知識において不足している領域を知り、学習する 2 専門職人として自己のキャリアについて考え行動する 3 所属部署の勉強会の企画や運営に参画する 4 年間活動を振り返り、自己の課題を明確にする 5 専門領域の研修会や学会に参加する 6 リーダーの役割を果たすため必要な理論を学習する
教育・指導		1 学生の1日の行動計画を把握し、指導者に依頼された時には対応する	1 基準・手順に沿って後輩を指導する 2 後輩及び学生に対して、必要な知識・技術を習得できるように指導する	1 後輩及び学生の学習活動に必要な資源を紹介する 2 後輩及び学生の役割モデルとなるよう看護を実践する	1 所属部署の教育計画の企画・運営に参画する 2 スタッフに学習への動機付けを行う 3 研修や講演会への参加を呼びかけ、学習する雰囲気をつくる 4 臨地実習中の患者と学生の安全を守る 5 臨床指導者の支援をする
研究		1 院内の研究発表会へ参加する 2 実践した看護を通して看護観をまとめて発表する	1 看護業務上の課題を研究的視点で考える 2 看護実践報告(2年目)看護研究(3年目)をまとめて発表する 3 看護上の課題について書籍や先行文献から解決策を見出す	1 院内研究発表会や関連学会に積極的に参加する 2 研究活動の必要性を理解し、アンケート等のデータ収集に協力する 3 研究対象者に倫理的配慮(人権尊重)をする 4 研究結果を日常の看護に活用する	1 看護研究から得た成果を臨床に応用する 2 院内看護研究発表会、関連学会等で研究発表をする 3 ケーススタディやカンファレンスで、助言・指導をする 4 スタッフの研究グループへの協力をする
人間関係能力(社会人・職業人としての倫理観・態度)	患者家族との関わり	1 尊重する、傾聴する、共感する、受け止める等の人間関係の基本的姿勢をもつ 2 患者や家族からの質問や依頼に誠実に対応する	1 患者や家族の個性を尊重し、対応する 2 尊重、傾聴、共感、受容等の態度で、患者家族に対し誠実かつ適切(正確、安全)に対応する 3 倫理綱領と実践を結びつけて考え、倫理的行動がとれる	1 他者の立場を理解し、尊重して公平で変わらない態度で接する 2 自己の対応が相手に与える影響を自覚して、行動がとれる(患者・家族との信頼関係を築く) 3 倫理的意識決定の解決に向けて支援する	1 済生会の理念及び自施設の理念に基づき患者・家族と関わる 2 患者・家族と信頼ある関係を築く 3 患者・家族を中心としたチーム医療活動の中で良好な人間関係を保ち調整する 4 倫理的問題を把握し、患者を取り巻くすべての人を巻き込み行動する 5 倫理的問題を把握し、スタッフが解決に向けた行動をするための支援をする
	リーダーシップ	1 業務上必要な連絡・報告・相談をする 2 同僚・先輩・上司の助言を謙虚に聴く 3 チームワークの重要性を認識し、新しい情報を取り入れている	1 自分の特徴を知り、不足点を補い行動する 2 自分の役割を理解し、周囲と協力しながら行動する	1 夜勤や休日に、看護単位(師長代行)の責任者としての役割行動がとれる 2 所属部署の目標達成に向け、チームリーダーとして役割を果たす 3 所属部署の係活動や、会議の推進役割がとれる 4 メンバーに対し公平な態度で接し、業務調整をする 5 委員会活動に参加し、自部署にその活動を広げる	1 スタッフの個人の目標に関して指導・支援をする 2 リーダーを補佐し、チームワークを保つような行動をする 3 所属部署の課題に対して、チーム全体で問題解決に向けた行動ができるよう指導する 4 看護部の委員会活動や会議に積極的に参加する 5 病院の方針を理解し、他職種と連携・協働する
	社会性	1 社会人としてのマナーを身に付けている(言葉使い、態度、自ら挨拶する等) 2 髪型を整え、ユニフォームを清潔に着用する 3 来訪者や電話に丁寧に対応する 4 与えられた課題を期日までに遂行する 5 自己の健康管理に心がける(ストレスを自覚したら、誰かに相談する) 6 職場の規律を守る 7 済生会の使命が言える	1 済生会の組織人として自分の立場と役割を自覚し行動する 2 同僚・上司との関係で、自己の感情をコントロールする 3 自分の態度や言葉に責任を持ち、行動する 4 一人で解決できない時には、適切に相談する 5 看護界の動向に関心をもつ	1 生活困窮者への援助事業について理解し、参加する 2 就業規則・職場規律を守り、後輩の模範となる 3 仕事に誇りを持ち、職場の士気をあげるために行動する 4 自己の課題について肯定的にとらえ、対処の方法が分かる 5 他者の立場を理解し、尊重して公平で変わらない態度で接する 6 診療報酬体系に関心をもち自施設に結びつけて考える	1 生活困窮者への援助事業について理解し他部署と協働する 2 院内・外において済生会の組織人として自覚を持ち行動を示す 3 就業規則・職場規律を守り、後輩の指導をする 4 看護に関わる政策や医療経済を理解する